

公益社団法人 私立大学情報教育協会  
2023 年度第 7 回事業普及委員会議事録

I. 日 時： 令和 6 年 1 月 3 0 日（火）18：00～20：00  
配信場所： 公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局（Zoom によるオンライン会議）

II. 出席者 今泉委員長、波多野委員、尾崎委員、西浦委員、木村委員、歌代委員  
（すべてネット出席）  
事務局：井端事務局長、中村

III. 検討内容

1. 2023 年度機関誌 No. 4（3 月号）の企画について

- ① 巻頭言は、明治学院大学に依頼することにした。
- ② 生成 AI については、「規制」と「利用」の在り方などが議論されているが、大学教育においては、新しい技術を使いこなしていく知的活動を止めることはできず、むしろ使いこなすことを支援する教育や研究の在り方を開発していくことが重要であることから、次号では特集として「生成 AI を利活用した授業等の紹介と今後の授業を考える」とし、以下の ICT 利用による教育改善研究発表会や、イノベーション大会等での発表者に依頼し掲載することを確認した。

- ・「ChatGPT で英語教育の在り方を探求」（仮題）  
立命館大学 山中 司 氏
- ・「ChatGPT を活用したグループワークにおける学習体験と参加度の評価」（仮題）  
甲南女子大学 高尾 俊介 氏、山下 香 氏
- ・「生成 AI の利用を前提としたレポート課題についての提案」（仮題）  
東北学院大学 松本 章代 氏
- ・「生成 AI による自己理解の深化 ～ポートフォリオを活用したキャリア支援の可能性～」（仮題）  
福山大学 前田 吉広 氏
- ・「私情協の短期大学コンソーシアム活動に生成 AI を導入した学びの成果」  
＜地域貢献支援事業の「高齢者支援事業」での試行＞（仮題）  
実践女子大学短期大学部 三田 薫 氏、山野美容芸術短期大学 及川 麻衣子 氏
- ・「『地域価値発見支援事業』に生成 AI を導入する学びの構想」（仮題）  
別府大学短期大学部 後藤 義友 氏、衛藤 大青 氏

- ③ 前号に引き続き、次号では令和 5 年度に「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム(応用基礎レベル)プラス」に選定を受けた大学や学部取組みを「数理・データサイエンス・AI 教育の紹介(その 3)」として以下の依頼先の承諾を得て掲載することにした。

- ・九州工業大学：(仮題)「九州工業大学における MDASH プログラム」
- ・筑波大学(理工学群)：(仮題)「筑波大学理工学群における数理・データサイエンス・AI (MDA) 教育プログラム」
- ・大阪大学(工学部と基礎工学部)：  
（仮題）「大阪大学における数理・データサイエンス・AI プログラム(工学部)」  
（仮題）「大阪大学における数理・データサイエンス・AI プログラム(基礎工学部)」
- ・武蔵野大学(データサイエンス学部)：(仮題)「武蔵野大学データサイエンス学部におけるデータサイエンス・人工知能 (AI) 人材育成プログラム」

- ④ 「私情協ニュース」は、以下を掲載することを確認した。

- ・令和 5 年度(2023 年度)産学連携人材ニーズ交流会 開催要項
- ・令和 5 年度(2023 年度)FD による情報技術研究講習会 開催要項
- ・令和 6 年度(2024 年度)行事日程・加盟校の特典

- ⑤ 「事業活動報告」は、以下を掲載することを確認した。

- ・令和 5 年度(2023 年度)大学職員情報化研究講習会(基礎講習コース) 開催報告
- ・令和 5 年度(2023 年度)大学職員情報化研究講習会(ICT 活用コース) 開催報告
- ・令和 5 年度(2023 年度)大学情報セキュリティ研究講習会 開催報告
- ・令和 5 年度(2023 年度)教育改革 FD/ICT 理事長・学長等会議 開催報告
- ・令和 5 年度(2023 年度)短期大学教育改革 ICT 戦略会議 開催報告

- ⑥「募集」は、以下を掲載することを確認した。
- ・2024年度 ICT利用による教育改善研究発表会 発表募集要項
  - ・2024年度 私情協 イノベーション大会 発表者募集のご案内
  - ・教育事例等コンテンツオンデマンド配信案内

⑦「賛助会員だより」は、(株)NTT ExC パートナーとすることを確認した。

2. その他（次回の日程について）

次回は2023年度No.4（3月号）の原稿の確認を中心に検討することとし、令和6年3月14日（木）17時30分より、引き続きネット（ZOOM会議）にて開催することとした。

以上